

2022年度 課題研究指導実施方針

教 員 名	飯 田 俊 郎
指 導 分 野	<p>専門分野は地域社会学・都市社会学のコミュニティ論と、質的・量的な社会調査法であり、コミュニティ形成による地域課題の解決に取り組んでいる。</p> <p>具体的なテーマは院生との相談によって決定するが、観光、スポーツ、福祉、家族、世代間交流、国際交流、防犯、防災などのテーマに対応可能である。</p> <p>私自身のこれまでの主な研究テーマは、「移住者の地域社会への適応過程」「地域資源の保護と活用による住民主体の観光まちづくり」「除雪事業の地域間比較と福祉のまちづくり」であり、現在は「津軽海峡周遊の推進による下北地方の観光まちづくり」「青森市浪岡地域の住民参加による観光まちづくり」「おいらせ町の住宅街開発による移住促進」に取り組んでいる。</p>
指 導 方 針  (指 導 の 概 要 ・ 日 程 等)	<p>[修士論文]</p> <p>主に修士論文の山場となるフィールドワーク（2年次前半まで）、データ分析（2年次半ばまで）、論文の構成（2年次全体）、文章の推敲（2年次後半）を支援する。</p> <p>専門分野の基礎的・専門的な学術文献の読み込みと、研究テーマに関する行政資料や統計データの収集は1年次に終えるべきであるが、必要に応じて追加指導をする。</p> <p>フィールドワークには、私も必要な範囲内で同行して側面的な支援を行うが、主人公はあくまでも院生自身である。統計ソフトを用いたデータ分析の指導は得意とするところであるが、これも院生自身が技能を習得して自力で完成させなければならない。</p>
	<p>[研究調査]</p> <p>現地に頻繁に足を運び、情報提供者や調査対象者に繰り返し面会できるよう、フィールドワークの場所を設定し、日程を調整しなければならない。できるだけ院生自身の生活圏内で調査研究を行うことが望ましい。</p> <p>文献研究や資料の整理だけにとどまらない、フィールドワークによる地域課題の発見+オリジナルなデータの生産+データ分析に基づく課題解決策の提案（できれば実践）を志向する院生を受けいれたい。</p>